

## レギュラープログラムにおけるスタッフ参加について

※レギュラープログラムとは、ベーシックプログラムならびにインターンプログラム、オンラインプログラムの総称をいう

※コースディレクターとは、認定トレーナーが担い、当該プログラムを統括する責任者をいう

### I ベーシックプログラムへのスタッフ参加について

#### 1 スタッフの募集と応募資格について

募集は、コースディレクターが、プログラム開催のおよそ2ヶ月前にサイボウズ上で行う。

- 1) 『セラピスト』は、レクチャー、グループファシリテーションを担当する。コースディレクターが参加者の申込み状況に応じて、人数構成を決定し、募集する（申込み状況によっては追加募集を行うことがある）。
- 2) 『コンシェルジュ』は、プログラム期間中、現地での参加者・ホテル・スタッフ間の調整業務を担う。認定レベルを問わず、コンシェルジュ経験者またはサブコンシェルジュ（コンシェルジュ補佐役のボランティア）経験者から1名を募集する。
- 3) 『サポートスタッフ』は、認定レベルを問わず、参加者の申込み状況などから運営上必要と認められた場合に募集する（募集しない場合もある）。
- 4) 『ボランティア』は、研鑽目的や認定継続要件等のための参加区分であり、自主的な参加表明にてプログラムに参加できる。スポット参加も可能である。参加費は必要ないが、諸費用（交通費・宿泊費・その他）は自費となる。また、サブコンシェルジュ、物販など、プログラム中の運営に係る業務の分担を依頼されることがある。

#### 2 スタッフ名称と支払われるスタッフフィー

※ 別紙スタッフフィー一覧表をご参照ください。

#### 3 『セラピスト』の担当区分について

- 1) トレーナー：レクチャー並びにインターンミーティングのリード、患者並びにインターンスマールグループのファシリテーション
- 2) スーパーバイザー：インターンスマールグループのファシリテーション
- 3) 上記ファシリテーターの数に不足が生じた場合、トレーナー代理にはスーパーバイザーから、スーパーバイザー代理にはカウンセラーから任命する。

#### 4 上位認定資格の受験者について

- 1) 上位認定資格の受験者は『ボランティア』の参加区分で全日程に参加するものとする。
- 2) 受験者はプログラム期間中、審査を受けるために、認定トレーナー資格試験においてはレク

チャーの一部ならびに患者スモールグループファシリテーションを、認定スーパーバイザー資格試験においてはインターンスモールグループファシリテーションを担う。またプログラム中の運営に係る業務の分担を依頼されることがある。

## 5 認定セラピスト試験審査について

1) 各認定セラピスト試験の審査は、『ボランティア』を含めた参加スタッフで行う。

- ア. 認定トレーナー試験の審査 : トレーナー
- イ. 認定スーパーバイザー試験の審査 : トレーナー
- ウ. 認定カウンセラー試験の審査 : トレーナー、スーパーバイザー、カウンセラー

2) 可能な範囲において評価する（詳細はプログラム中のスタッフミーティングで伝達）。  
スポット参加の場合も、可能な範囲において審査への参加を推奨する。

※ボランティアスタッフの審査への関わり方について

基本として認定審査への参加を推奨するものであるが、ボランティアはコースディレクターへの申し出により、審査に入るか否かを選択できる。ただしその選択を期間中に変更することはできない。

3) 全ての評価を総合して、コースディレクターが合否を判断する。

## II インターンプログラムへのスタッフ参加について

### 1 スタッフの募集と応募資格について

インターンプログラムのスタッフは原則としてトレーナー1名、スーパーバイザーまたはサポートスタッフ1名を最少構成メンバーとする。募集はコースディレクターが、プログラム開催のおよそ2ヶ月前にサイボウズ上で行う。

- 1) 『セラピスト』は、レクチャー、グループファシリテーションを担当する。コースディレクターが参加者の申込み状況に応じて、人数構成を決定し、募集する（申込み状況によっては追加募集を行うことがある）。
- 2) 『サポートスタッフ』は、認定レベルを問わず、参加者の申込み状況などから運営上必要と認められた場合に募集する（募集しない場合もある）。
- 3) 『ボランティア』は、研鑽目的や認定継続要件等のための参加区分であり、自主的な参加表明にてプログラムに参加できる。スポット参加も可能である。参加費は必要ないが、諸費用（交通費・宿泊費・その他）は自費となる。また、プログラム中の運営に係る業務の分担を依頼されることがある。

## 2 スタッフ名称と支払われるスタッフフィー

※ 別紙スタッフフィー一覧表をご参照ください。

## 3 『セラピスト』の担当区分について

- 1) トレーナー：レクチャー並びにインターンスモールグループのファシリテーション
- 2) スーパーバイザー：インターンスモールグループのファシリテーション
- 3) 上記ファシリテーターの数に不足が生じた場合、スーパーバイザー代理をカウンセラーから任命する。

## 4 認定セラピスト試験審査について

- 1) 認定セラピスト試験の審査は、『ボランティア』を含めた参加スタッフで行う。

ア. 認定カウンセラー試験の審査 : トレーナー、スーパーバイザー、カウンセラー

- 2) 可能な範囲において評価する（詳細はプログラム中のスタッフミーティングで伝達）。  
スポット参加の場合も可能な範囲において審査への参加を推奨する。

※ボランティアスタッフの審査への関わり方について

基本として認定審査への参加を推奨するものであるが、ボランティアはコースディレクターへの申し出により、審査に入るか否かを選択できる。ただしその選択を期間中に変更することはできない。

- 3) 全ての評価を総合して、コースディレクターが合否を判断する。

## III オンラインプログラムへのスタッフ参加について

### 1 スタッフの募集と応募資格について

オンラインプログラムのスタッフは原則としてトレーナー1名、スーパーバイザー1名、オペレーター1名によって構成するものとする。募集はコースディレクターが、プログラム開催のおよそ2ヶ月前にサイボウズ上で行う。

- 1) 『セラピスト』は、レクチャー、グループファシリテーションを担当する。コースディレクターが参加者の申込み状況に応じて、人数構成を決定し、募集する（申込み状況によっては追加募集を行うことがある）。
- 2) 『オペレーター』は、プログラム期間中、参加者との連絡業務、Zoom 操作、報告書作成等を担う。認定レベルを問わず、オペレーター経験者またはオペレーター見習い（ボランティア）

経験者から1名を募集する。

- 3) 『サポートスタッフ』は、認定レベルを問わず、動画の編集等、運営上必要と認められた場合に募集する（募集しない場合もある）。
- 3) 『ボランティア』は、研鑽目的や認定更新要件等のための参加区分であり、自主的な参加表明にてプログラムに参加できる。スポット参加も可能である。参加費は必要ない。また、プログラム中の運営に係る業務の分担を依頼されることがある。

## 2 スタッフ名称と支払われるスタッフフィー

※ 別紙スタッフフィー一覧表をご参照ください。

## 3 『セラピスト』の担当区分について

- 1) トレーナー：レクチャー並びにインターントレーニングのリード、患者並びにインターンスマールグループのファシリテーション
- 2) スーパーバイザー：インターンスマールグループのファシリテーション
- 3) 上記ファシリテーターの数に不足が生じた場合、トレーナー代理にはスーパーバイザーから、スーパーバイザー代理にはカウンセラーから任命する。

## 4 認定セラピスト試験審査について

- 1) 認定セラピスト試験の審査は、オンラインプログラムでは原則行わない。ただし、必要と判断された場合には実施することがある。審査は『ボランティア』を含めた参加スタッフで行う。

ア. 認定カウンセラー試験の審査 : トレーナー、スーパーバイザー、カウンセラー

- 2) 可能な範囲において評価する（詳細はプログラム中のスタッフミーティングで伝達）。スポット参加の場合も可能な範囲において審査への参加を推奨する。

※ボランティアスタッフの審査への関わり方について

基本として認定審査への参加を推奨するものであるが、ボランティアはコースディレクターへの申し出により、審査に入るか否かを選択できる。ただしその選択を期間中に変更することはできない。

- 3) 全ての評価を総合して、コースディレクターが合否を判断する。

以上